

パートナーシップ調査2024

株式会社リクルート（本社：東京都千代田区 代表取締役社長：北村 吉弘）が運営する『リクルートブライダル総研』は、配偶者・パートナーシップの状況について詳細を把握するために、「パートナーシップ調査2024」を実施しました。ここに、調査結果をご報告致します。

- 既婚者全体（法律婚・事実婚含む）で配偶者・パートナー関係の満足層の割合は60.3%。
- 満足層のキーワードは、「個としての尊重」と「役割の柔軟性」
- 配偶者・パートナーとの良い関係性は個人の生活・仕事など人生の多岐にわたり影響する。

1. 配偶者・パートナー満足度とその影響（P.3～5）

- 既婚者全体で配偶者・パートナー関係の満足層は60.3%、どちらとも言えない層22.8%、不満足層16.9%。
- 結婚生活の中で「結婚の良さ」だと思ったことは全体では「子どもができたこと」44.2%、「精神的に支えてくれる人ができること」34.3%の順で高い。「結婚の良さ」として選ばれた項目は多岐にわたっている。
- 配偶者・パートナーとの良い関係が「人生の幸福度」「心の余裕」「生活の満足度」に影響すると答えた割合は、全体でいずれも約72%。「仕事のパフォーマンス」「仕事のモチベーション」「仕事の生産性」が上がると思えた割合は全体で5割以上。配偶者・パートナーとの関係性は生活や仕事のさまざまな側面に影響を及ぼしていることが推察される。

2. 配偶者・パートナーとの関係性と生活環境（P.6～13）

- 満足層の8割前後が「配偶者・パートナーとの考え方が違うのは当たり前だ」「結婚しても個人の人生を尊重すべきである」と回答。
- 「ある程度できていれば、家事は完璧でなくても良い」「家事は自分と配偶者もしくはパートナーで協力して行うものである」と回答した割合は満足層や60代でいずれも7割以上。形式的な平等や完璧さにこだわらず相手と協力して育児・家事を行うという考え方の傾向がみられる。
- 日常の出来事や、心配事・悩みを話している割合、および週1～2回程度以上の頻度で配偶者・パートナーや家族との1時間以上の会話がある割合は満足層の方が高く、コミュニケーションの頻度や量に大きな差がみられる。
- 配偶者・パートナーとの話し合いの中身をみると、不満足層に比較して満足層の方が話をしている項目が多く、話した結果として納得する割合も高い。その傾向は結婚前の話し合いの段階から同様にみられる。

3. 配偶者・パートナー満足と仕事環境および子ども意向（P.14～15）

- 現在働いている人では「職場の人間関係は良好である」「仕事内容に満足している」「家庭（プライベート）を大切にできる風土のある職場環境である」を選択する割合は満足層が不満足層よりも15ポイント以上高い。
- 子ども意向を年代別にみると、20代では、満足層の子ども意向53.6%、不満足層20.1%、30代では満足層の子ども意向40.0%、不満足層20.8%となっており、満足層と不満足層で差が開いている。

満足層：「配偶者・パートナーとの関係に満足している」に対して、「非常にそう思う」「ややそう思う」と回答
どちらとも言えない層：「配偶者・パートナーとの関係に満足している」に対して、「どちらとも言えない」と回答
不満足層：「配偶者・パートナーとの関係に満足している」に対して、「あまりそう思わない」「まったくそう思わない」と回答
子ども意向：「今後、（さらに）子どもを持ちたいと思っている」に対して、「非常にそう思う」「ややそう思う」と回答
本調査報告書内の「20代」は、「18歳～29歳」を指します。

調査データを引用する際は「パートナーシップ調査2024（リクルートブライダル総研調べ）」と明記をお願い致します

本件に関する
お問い合わせ先

リクルートブライダル総研 <https://souken.zexy.net/>
※報道関連・マスメディアの方は[こちら](#)よりお問い合わせください。

パートナーシップ調査2024

◆調査概要

【調査方法】 インターネットによるアンケート調査

【調査期間】 2024年2月16日（金）～2月22日（木）

【調査対象】 全国の「既婚者（法律婚・事実婚含む）」の18歳～69歳の男女

【回収サンプル数】 3,100件

※本調査では、性・年代別に定数にてサンプルを回収し、集計の際に実際の性・年代別既婚者の人口構成に合わせるために、サンプルに重みづけを行った（ウェイトバック集計）

◆回収サンプル構成

		既婚者（法律婚）									事実婚		合計
		初婚同士					再婚			初婚同士	初婚同士以外		
		18-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	自分初婚・相手再婚	自分再婚・相手初婚	再婚同士				
東名阪	男性	103	103	103	103	103	52	52	52	52	52	775	
	女性	103	103	103	103	103	52	52	52	52	52	775	
東名阪以外	男性	103	103	103	103	103	52	52	52	52	52	775	
	女性	103	103	103	103	103	52	52	52	52	52	775	
合計		412	412	412	412	412	208	208	208	208	208	3,100	

※「東名阪」とは、首都圏（東京・神奈川・千葉・埼玉）、東海（愛知・岐阜・三重）、関西（大阪・兵庫・京都・奈良・滋賀・和歌山）を示します。



事前調査による性・年代別既婚者の人口構成に合わせてウェイトバック集計を実施

◆ウェイトバック補正後サンプル構成

		既婚者（法律婚）									事実婚		合計
		初婚同士					再婚			初婚同士	初婚同士以外		
		18-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	自分初婚・相手再婚	自分再婚・相手初婚	再婚同士				
東名阪	男性	39	32	197	250	134	30	40	23	59	22	827	
	女性	47	61	194	190	139	41	30	27	59	28	816	
東名阪以外	男性	29	37	133	165	145	27	29	20	45	21	651	
	女性	28	52	179	189	180	46	32	27	53	21	806	
合計		144	182	702	794	598	145	132	97	215	92	3,100	

※ウェイトバックによる補正を行っているため、補正後サンプル数に小数点が発生していますが、四捨五入して整数表記をしています。そのため、サンプル数の合計と誤差が生じる場合がございます。

◆備考

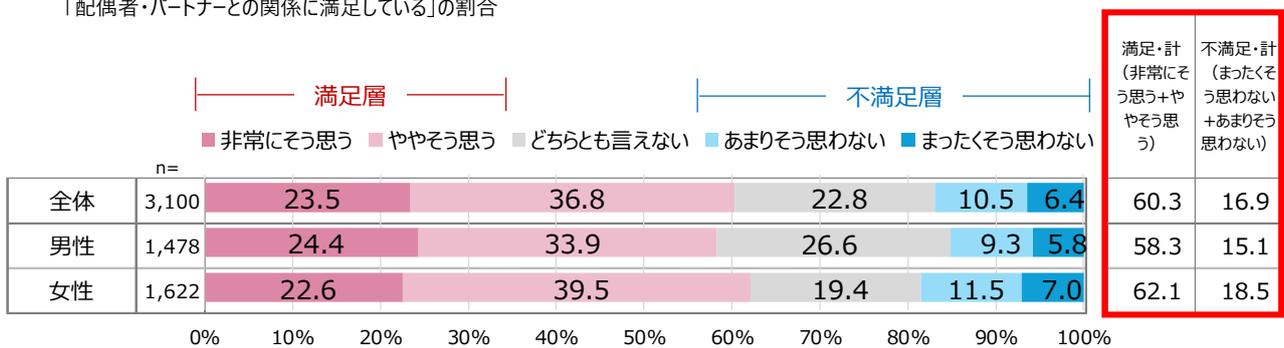
- 本文中に使用している集計軸において、「20代※」と表記されている軸は、「18歳～29歳」を指します。
- 本文中に使用しているサンプル数はウェイトバック補正後の数値です。
- 本文中に使用している集計軸において、「パートナー関係」と表記されている軸は、項目「配偶者・パートナーとの関係に満足している（していた）」で「満足…非常にそう思う+ややそう思う」「どちらとも言えない」「不満…まったくそう思わない+あまりそう思わない」を指します。

1. 配偶者・パートナー満足度とその影響

- 既婚者全体（法律婚・事実婚含む）で配偶者・パートナー関係に満足している人（満足層）は60.3%、どちらとも言えない層22.8%、不満足層16.9%。満足層の割合は、男性では58.3%、女性では62.1%。
- 配偶者・パートナーの満足層の割合を年代別にみると、30代・40代で低下するが、50代からは増加に転じ60代（63.5%）で最大になっており、次いで20代（62.8%）が高い。

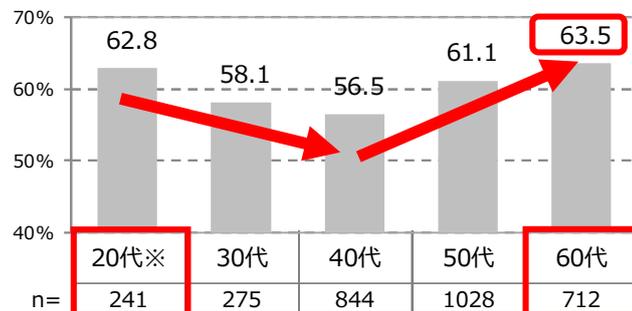
■ 配偶者・パートナー満足状況（全体／性別／単一回答）

※「Q.配偶者・パートナーとの関係や配偶者・パートナーのことについて、お答えください。」
「配偶者・パートナーとの関係に満足している」の割合



■ 配偶者・パートナー満足状況（全体／年代別／単一回答）

※「Q.配偶者・パートナーとの関係や配偶者・パートナーのことについて、お答えください。」の「配偶者・パートナーとの関係に満足している」について、満足・計（「非常にそう思う」「ややそう思う」と回答した人の割合



※「20代※」…「18歳～29歳」を指します。

1. 配偶者・パートナー満足度とその影響

- 結婚生活の中で「結婚の良さ」だと思ったことは全体では「子どもができたこと」44.2%、「精神的に支えてくれる人ができること」34.3%の順で高い。
- 満足層と不満層で差が大きい項目は、「精神的に支えてくれる人ができること」の36.6ポイント差を最大に、「一番の味方でいてくれる存在ができること」「愛おしいと感じる相手と一緒に暮らせること」「人生の幸福度が増すこと」「頼れる、頼もしいと感じる相手と一緒に暮らせること」の順（30ポイント前後差）となっている。
- 「結婚の良さ」として選ばれた項目は多岐にわたっている。

■ 結婚の良さだと思うこと（全体／パートナー関係満足状況別／複数回答）

※「Q.あなたが、これまでの結婚生活の中で『結婚の良さ』だと思ったことは何ですか。これまでの結婚生活を通して当てはまるものを全てお答えください。」

※全体降順でソート

差分	は満足層が不満層よりも20ポイント以上高い項目	n=	パートナー関係			差分 (満足 -不満)
			全体	満足	どちらとも言えない	
		3,100	1,869	708	524	-
		44.2	47.2	36.1	44.4	2.9
		34.3	46.6	19.5	10.0	36.6
		33.7	41.7	25.8	16.1	25.6
		33.6	44.3	18.4	16.1	28.2
		33.2	38.8	28.5	19.6	19.1
		31.1	39.8	19.8	15.3	24.5
		30.1	42.0	13.3	10.2	31.8
		27.8	38.3	13.7	9.4	28.9
		26.4	34.5	16.8	10.3	24.2
		25.3	31.7	17.7	12.6	19.0
		25.2	27.0	20.3	25.6	1.4
		25.2	33.6	14.9	9.1	24.5
		25.0	30.9	18.1	13.7	17.2
		24.6	34.1	12.7	6.8	27.4
		23.8	32.8	11.8	8.2	24.6
		22.0	24.7	15.2	21.6	3.1
		22.0	26.5	14.0	16.6	9.9
		20.5	23.4	18.0	13.9	9.5
		19.5	24.4	13.7	9.9	14.5
		11.8	14.5	7.6	7.9	6.6
		10.5	12.1	10.0	5.6	6.5
		10.1	12.7	6.3	6.3	6.4
		9.9	11.5	8.4	6.6	4.9
		8.7	10.5	6.9	4.8	5.7
		8.6	8.8	7.8	9.0	-0.3
		8.6	10.7	5.9	4.5	6.2
		7.3	6.4	7.2	10.7	-4.3
		7.2	6.7	6.4	9.9	-3.1
		0.2	0.2	0.3	0.0	0.2
		4.1	1.2	6.9	10.8	-9.6

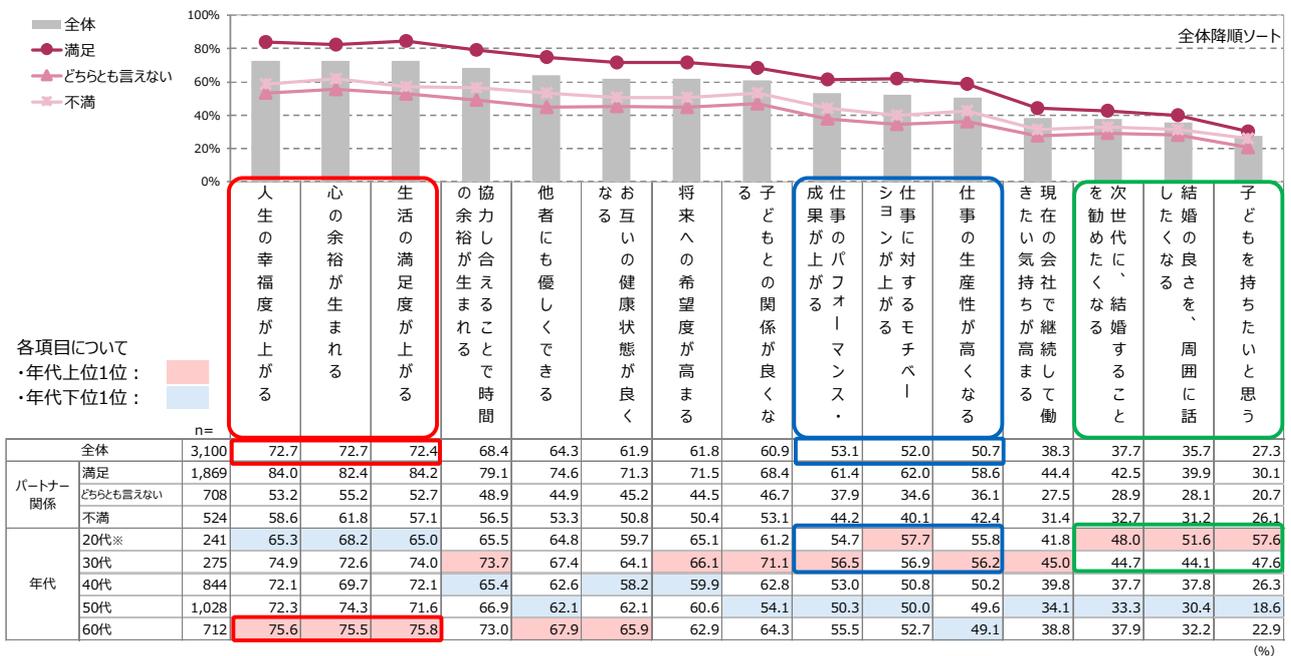
(%) (pt)

1. 配偶者・パートナー満足度とその影響

- 配偶者・パートナーとの良い関係が「人生の幸福度」「心の余裕」「生活の満足度」に影響すると答えた割合は、全体でいずれも約72%、60代では約75%。
- 「仕事のパフォーマンス」「仕事のモチベーション」「仕事の生産性」が上がると答えた割合は全体で5割以上。特に、20代、30代では配偶者・パートナー関係が良好なことが、「パフォーマンス」「モチベーション」「生産性」に影響があるとする傾向が他の年代よりも多くみられる。
- 配偶者・パートナーとの良い関係があることによって、「(さらに)子どもを持ちたいと思う」と答えた割合は20代で57.6%、30代で47.6%。「次世代に、結婚することを勧めたくなる」「結婚の良さを、周囲に話したくなる」は20代で5割前後、30代で4割超となっている。
- 配偶者・パートナーとの良好な関係性は生活や仕事のさまざまな側面に影響を及ぼしていることが推察される。

■ パートナーとの良い関係とその影響（全体／パートナー関係満足状況別・年代別／単一回答）

※「Q.配偶者・パートナーとの関係がよい状態であることによって、どんな影響があると思いますか。」で各項目に、「非常にそう思う」「ややそう思う」と回答した人の割合



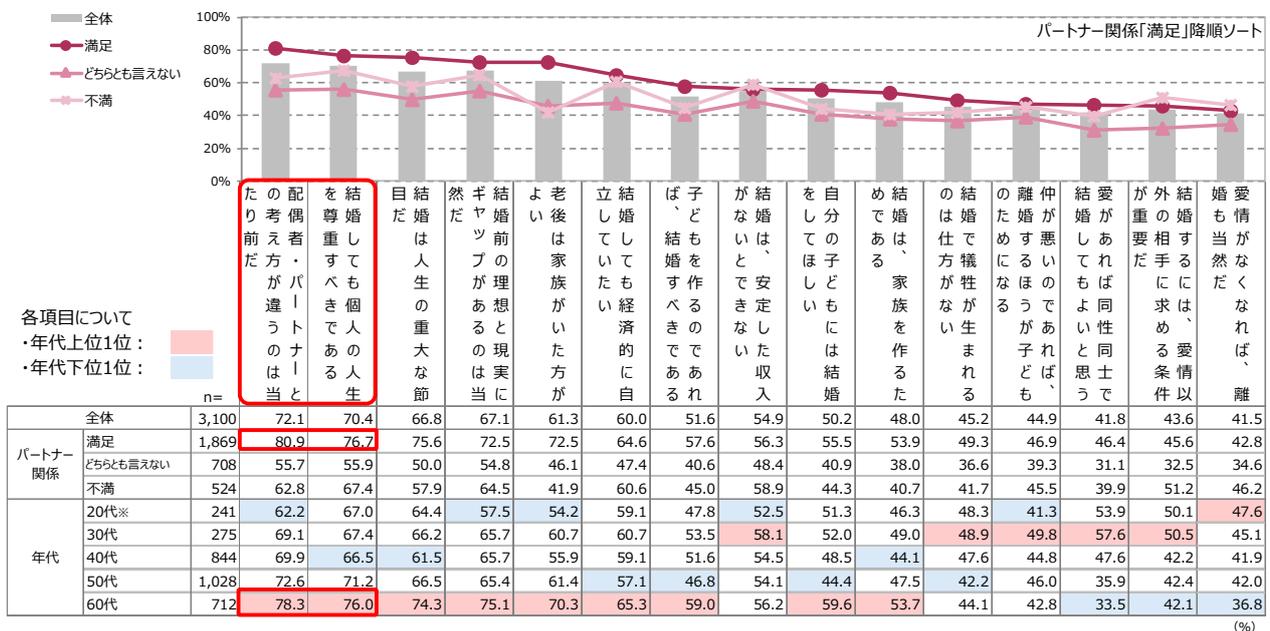
※「20代※」…「18歳～29歳」を指します。

2. 配偶者・パートナーとの関係性と生活環境

- 満足層の8割前後が「配偶者・パートナーとの考え方が違うのは当たり前だ」「結婚しても個人の人生を尊重すべきである」と回答。また、60代で上記項目について「非常にそう思う」「ややそう思う」と答えた割合は他の年代より高く、この年代では異なる価値観を認め合う自立した関係性にある人が多いことが推察される。
- 満足層および、60代の「ある程度できていれば、家事は完璧でなくても良い」「家事は自分と配偶者もしくはパートナーで協力して行うものである」と回答した割合はいずれも7割以上。形式的な平等や完璧さにこだわらず相手と協力して育児・家事を行うという考え方の傾向がみられる。
- 一方、「現在の家事負担比率に満足している」「決めた通りに分担できている」では、満足層と不満足層・どちらとも言えない層での回答割合の差が20ポイント以上となっており、家事負担比率への納得感と決めた通りに相手も動いてくれる信頼感もパートナー関係の満足には必要と思われる。

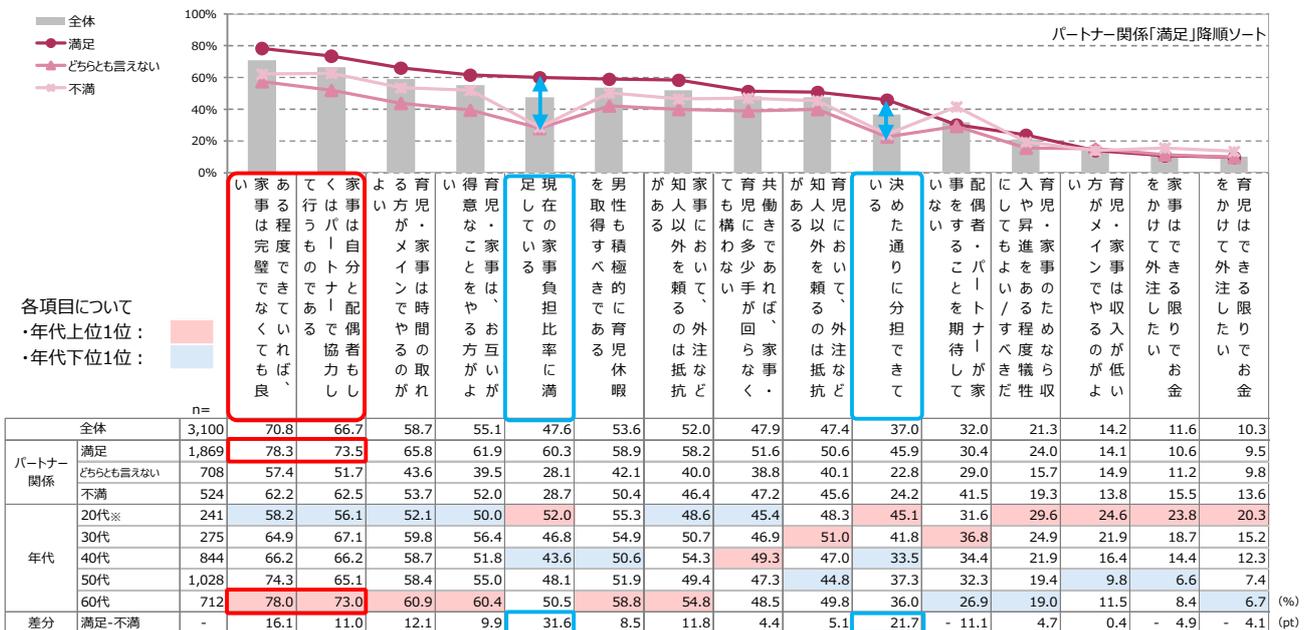
■ 配偶者・パートナー関係への意識（全体／パートナー関係満足状況別・年代別／単一回答 ※全体スコア上位15項目抜粋）

※「Q.あなたは現在、下記のようなことについて、どのように考えていますか。」の各項目に、「非常にそう思う」「ややそう思う」と回答した人の割合



■ 家事・育児観（全体／パートナー関係満足状況別・年代別／単一回答）

※「Q.育児・家事に対する考え方として当てはまるものをお選びください。」の各項目に、「非常にそう思う」「ややそう思う」と回答した人の割合



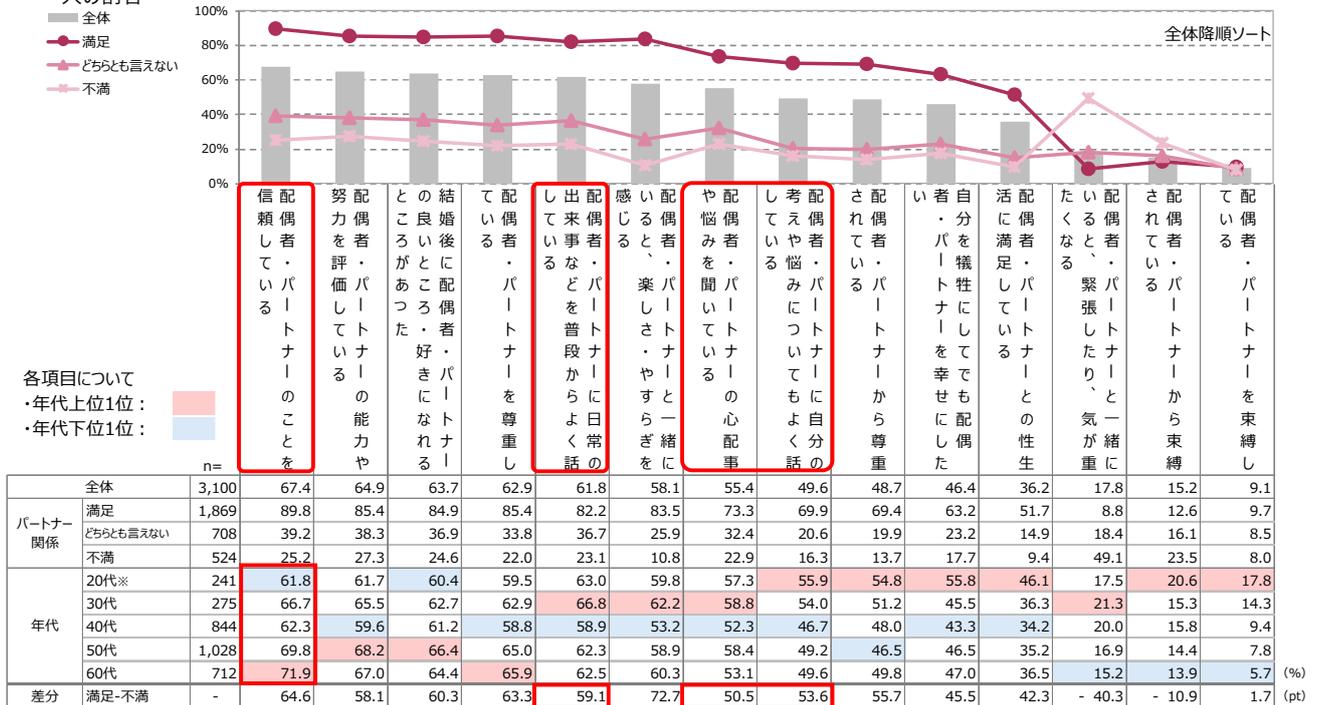
※「20代※」…「18歳～29歳」を指します。

2. 配偶者・パートナーとの関係性と生活環境

- 「配偶者・パートナーのことを信頼している（していた）」と答えている割合は、20代の61.8%から年代が上がるほど増加していく傾向があり（40代は除く）、60代の71.9%が最も高い。60代までパートナー関係を続けている層における信頼関係の高さがうかがえる。
- 日常の出来事や、心配事・悩みを話している割合、および週に1～2回程度以上の頻度で、配偶者・パートナーや家族との1時間以上の会話がある割合は満足層の方が高く、コミュニケーションの頻度や量に大きな差がみられる。

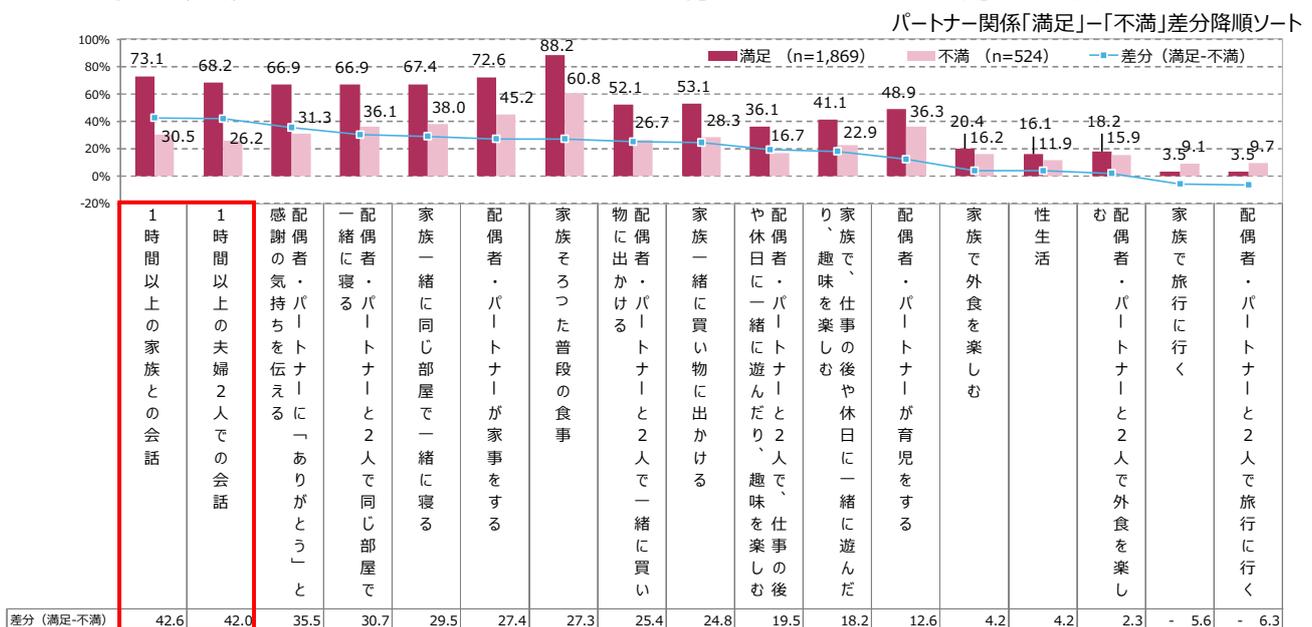
■ 配偶者・パートナーとの関係性（全体／パートナー関係満足状況別・年代別／単一回答）

※「Q.配偶者・パートナーとの関係や、配偶者・パートナーのことについて、お答えください。」で各項目に、「非常にそう思う」「ややそう思う」と回答した人の割合



■ 配偶者・パートナーとの習慣・頻度（全体/パートナー関係満足状況別/単一回答）

※「Q.家族（夫婦）そろって以下のことをするのはどれくらいの頻度ですか。」で各項目に、「週に1～2回程度」以上の頻度回答者の割合



※「20代*」…「18歳～29歳」を指します。

2. 配偶者・パートナーとの関係性と生活環境

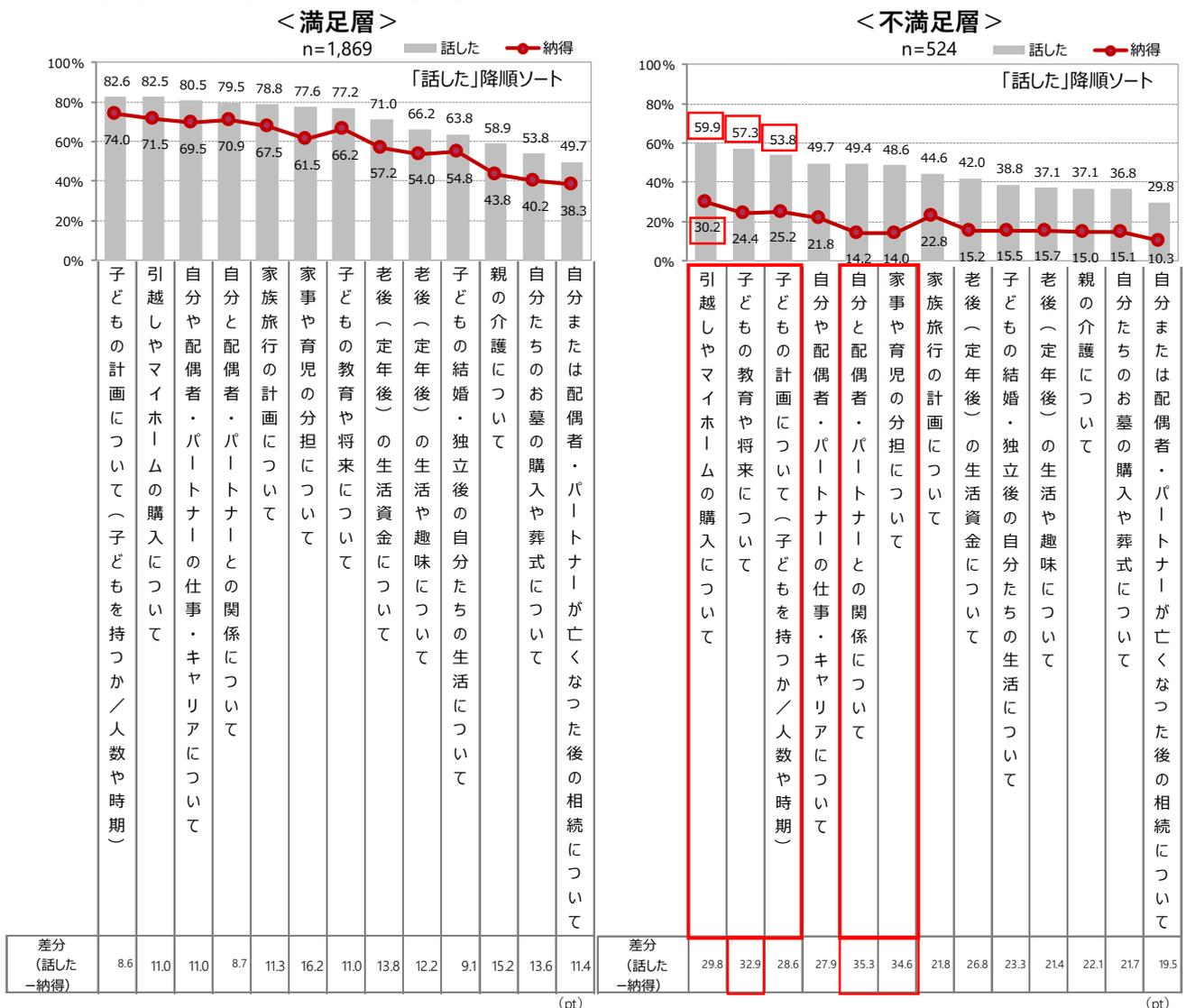
- 満足層の5割以上が、配偶者・パートナーと13項目中12項目で話をしている一方、不満足層の5割以上が話している内容は、「引越し・マイホームの購入」59.9%、「子どもの教育・将来」57.3%、「子どもの計画」53.8%の3項目のみ。
- さらに、不満足層では納得している割合が低く、「話した」割合と「話しており、相互に納得している」割合の差分が大きい（話したが納得していない人が多い）。不満足層全体のうち「話しており相互に納得している」割合は、「引越し・マイホームの購入」の30.2%を最高に、その他の項目では1～2割程度にとどまる。
- 不満足層では「自分と配偶者・パートナーとの関係について」「家事や育児の分担について」「子どもの教育や将来について」の項目で、「話した」割合よりも「納得した」割合の方が30ポイント以上低く、話してはいるものの納得できていないことが不満足の原因の一つであると推察される。

■ 配偶者・パートナーとの話し合い【結婚後】（全体／パートナー関係満足状況別／単一回答）

※「Q.以下のことについては、配偶者・パートナーと話していますか（していましたか）。」

※「話した」：各項目に、「話しており、相互に納得している」「話しているが、相互に納得はしていない」と回答した人の割合

※「納得」：各項目に、「話しており、相互に納得している」と回答した人の割合



2. 配偶者・パートナーとの関係性と生活環境

- 結婚前に話し合った内容はいずれの項目も満足層の方が高く、結婚前にお互いの価値観を理解するためにいろいろな話し合いがなされたことが推察される。
- 不満足層では「話した」割合よりも「納得した／理解した」割合の方が30ポイント以上低い項目が多く、話したものの納得できていない割合が満足層よりも高い。

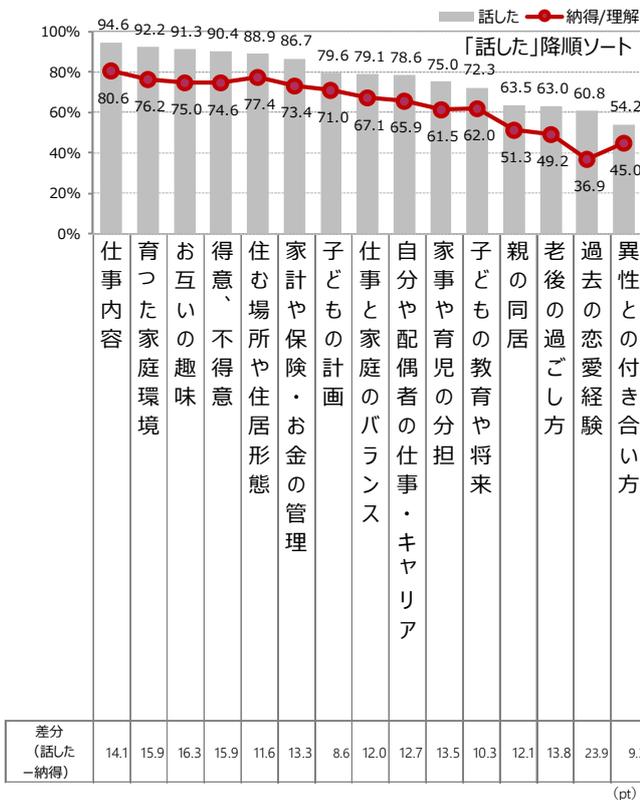
■ 配偶者・パートナーとの話し合いと納得／理解【結婚前】（全体／パートナー関係満足状況別／単一回答）

※「Q.【結婚する前】に下記のようなことについて、どの程度結婚相手・パートナーと話し合ったり、相談したりしましたか。」

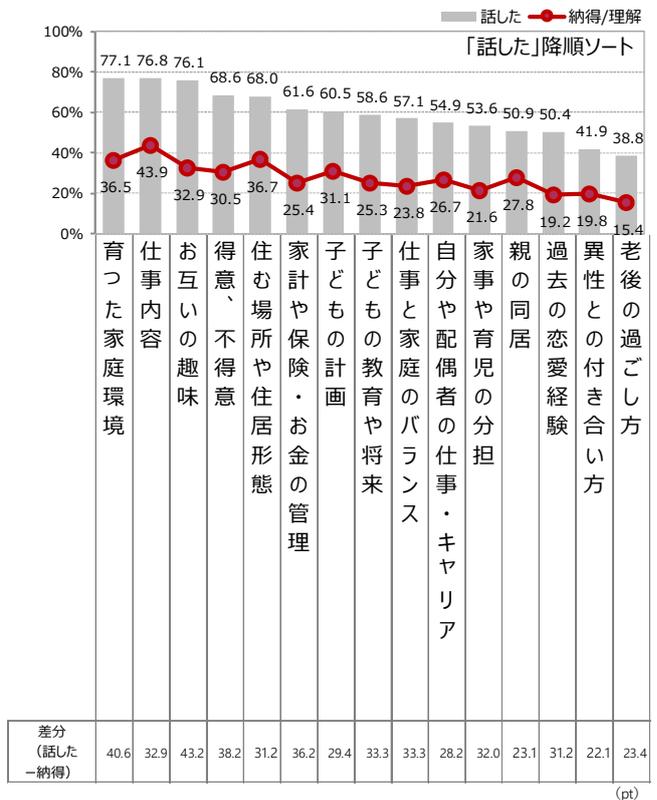
※「話した」：各項目に、「話して、相互に納得した」「話したが、相互に納得はしていない」もしくは「話して、十分に理解した」「話したが、あまり理解はしていない」と回答した人の割合

※「納得/理解」：各項目に、「話して、相互に納得した」もしくは「話して、十分に理解した」と回答した人の割合

<満足層>
n=1,869



<不満足層>
n=524

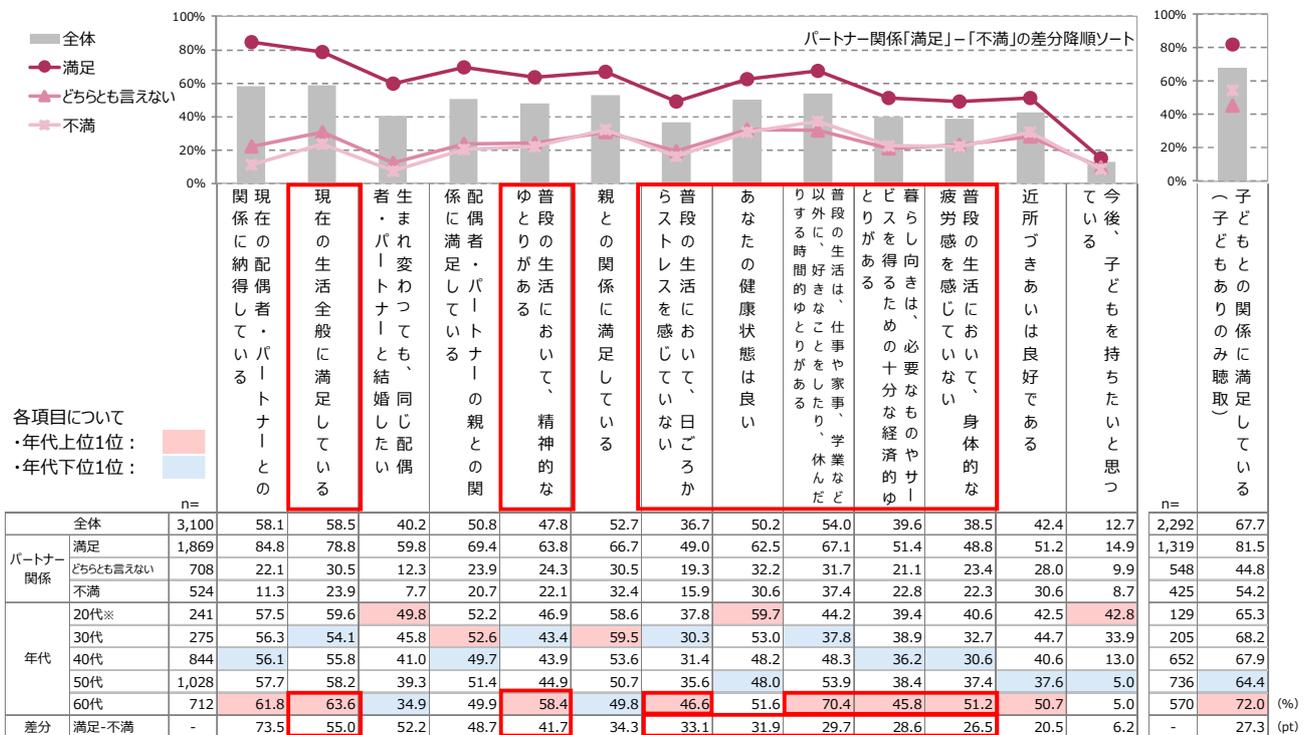


2. 配偶者・パートナーとの関係性と生活環境

- 生活への満足度や精神的ゆとり、心身の健康、経済的なゆとりがあると満足層が答えた割合は、不満層の回答割合を20ポイント以上上回り、心身の健康やゆとりがパートナーとの満足感に強く関わっていることがわかる。
- 60代は時間・経済・精神面においてのゆとりが他年代よりも高い傾向がある。子どもが社会人になり子どもの独立、自身の定年や仕事のペースダウンなど、生活にゆとりができた人が増えることが影響していると考えられ、現状を評価する割合が他年代に比較して高い一つの要因となっているとみられる。

■ 現在の生活（全体／パートナー関係満足状況別・年代別／単一回答）

※「Q.現在の生活における、あなたの状況についてお答えください。」の各項目に「非常にそう思う」「ややそう思う」と回答した人の割合



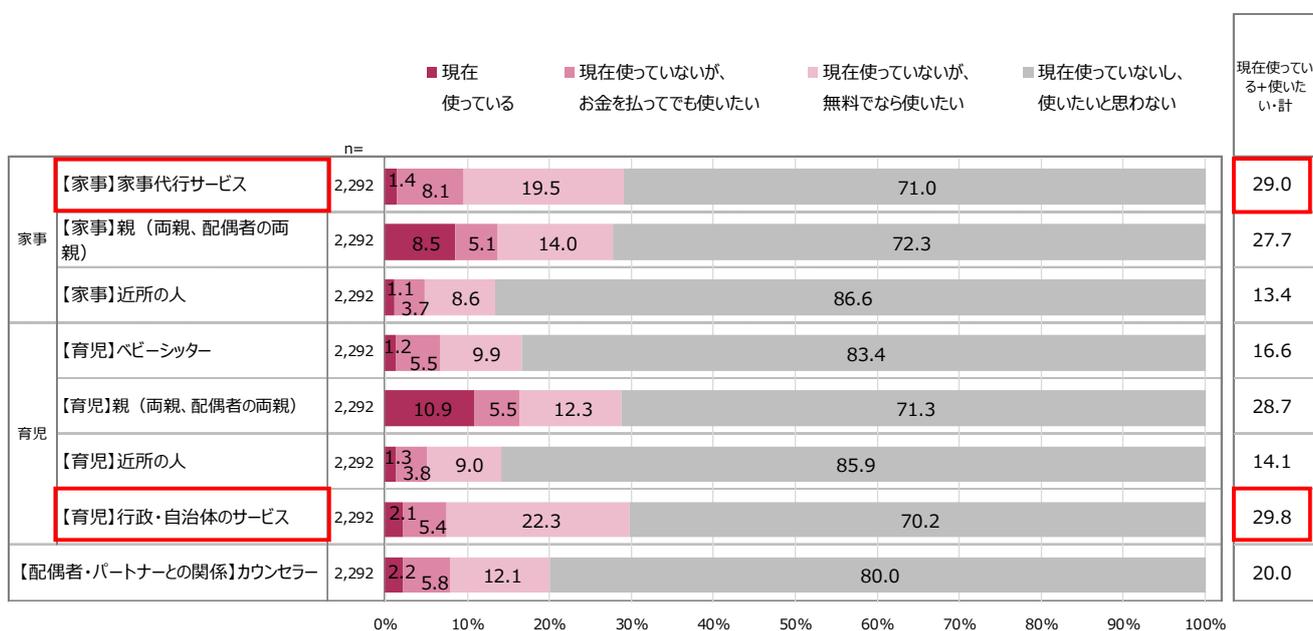
※「20代※」…「18歳～29歳」を指します。

2. 配偶者・パートナーとの関係性と生活環境

- 子どもありと回答した人の約3割が、「【育児】行政・自治体のサービス」「【家事】家事代行サービス」といった外部サポートの利用ニーズ（「現在使っている」「現在使っていないが、お金を払っても使いたい」「現在使っていないが、無料でなら使いたい」の合計）を持っている。

■ 外部サポートへのニーズ（子どもありベース／単一回答）

※「Q.あなたが現在、手を借りている存在やサービスはありますか。また使っていない場合は、使いたいとお答えください。」

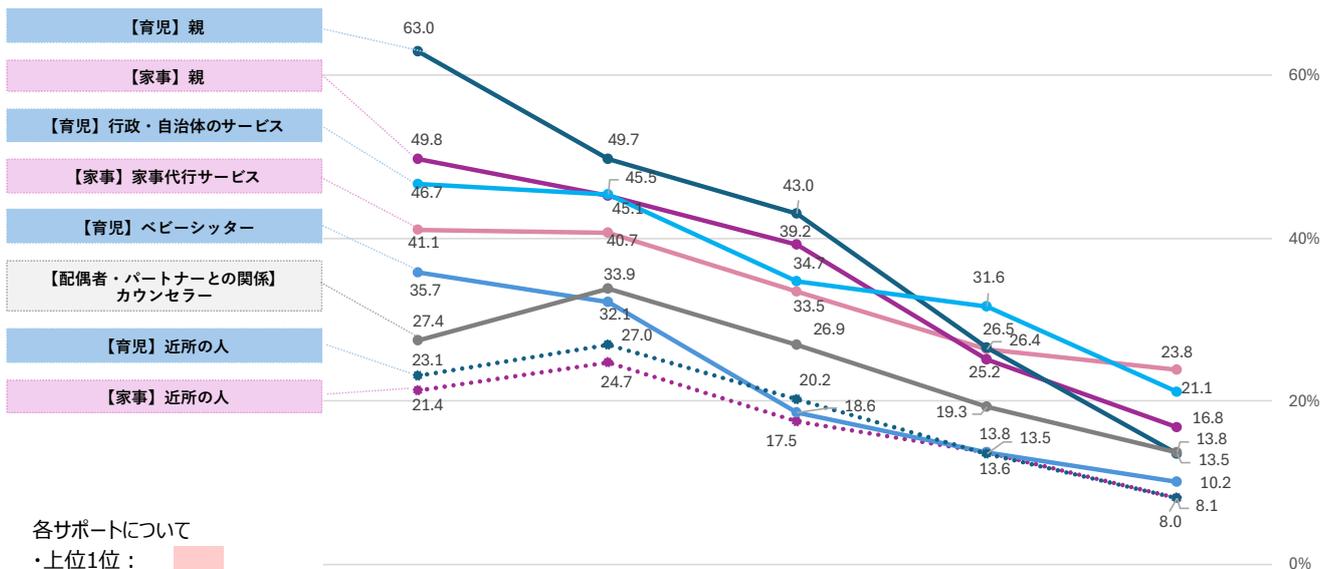


2. 配偶者・パートナーとの関係性と生活環境

- 子どもがいる人の外部サポート利用ニーズを末子の年齢別にみると、末子年齢が0～2歳、3～6歳で高い。
- 特に末子年齢0～2歳では、「【育児】親」が63.0%、「【家事】親」が49.8%、「【育児】行政・自治体のサービス」が46.7%、「【家事】家事代行サービス」が41.1%、「【育児】ベビーシッター」が35.7%のニーズがあり、他の末子年齢を持つ人よりもニーズが高い。（詳細は次ページ記載）
- 家事・育児の直接的サポートの他、「【配偶者・パートナーとの関係】カウンセラー」のニーズも末子年齢が0歳～小学生で3割前後となっている。

■ 外部サポートのニーズ（子どもありベース／末子の年齢別／単一回答）

※「Q.あなたが現在、手を借りている存在やサービスはありますか。また使っていない場合は、使いたいとお答えください。」で各項目に、「現在使っている」「現在使っていないが、お金を払ってでも使いたい」「現在使っていないが、無料でなら使いたい」と回答した人の割合



各サポートについて

・上位1位：

	0～2歳 (n=235)	3～6歳の未就学児 (n=187)	小学生 (n=384)	中学生/高校生 (n=398)	それ以降・その他 (n=1,088)
【家事】家事代行サービス	41.1	40.7	33.5	26.4	23.8
【家事】親（両親、配偶者の両親）	49.8	45.1	39.2	25.2	16.8
【家事】近所の人	21.4	24.7	17.5	13.8	8.1
【育児】ベビーシッター	35.7	32.1	18.6	13.6	10.2
【育児】親（両親、配偶者の両親）	63.0	49.7	43.0	26.5	13.5
【育児】近所の人	23.1	27.0	20.2	13.5	8.0
【育児】行政・自治体のサービス	46.7	45.5	34.7	31.6	21.1
【配偶者・パートナーとの関係】カウンセラー	27.4	33.9	26.9	19.3	13.8

(%)

2. 配偶者・パートナーとの関係性と生活環境

参考データ

■ 外部サポートのニーズ（全体・子どもありベース／末子の年齢別・働き方別 ／単一回答）

※「Q.あなたが現在、手を借りている存在やサービスはありますか。また使っていない場合は、使いたいとお答えください。」

		末子年齢					働き方					
		全体 (子供あり)	0~2歳	3~6歳の 未就学児	小学生	中学生/ 高校生	それ以降・ その他	全体	共働き	兼業 (パートタ イム/扶養 内)	専業	
n=		2,292	235	187	384	398	1,088	2,292	828	632	832	
育児	親（両親、配偶者の両親）	現在使っている	10.9	32.5	23.2	21.1	6.8	1.9	10.9	14.4	10.8	7.4
		現在使っていないが、お金を払ってでも使いたい	5.5	8.7	9.8	8.1	4.5	3.6	5.5	6.0	7.3	3.8
		現在使っていないが、無料でなら使いたい	12.3	21.7	16.7	13.8	15.2	7.9	12.3	15.2	13.4	8.5
		現在使っていないし、使いたくない	71.3	37.0	50.3	57.0	73.5	86.5	71.3	64.4	68.4	80.3
	現在使っている+使いたい・計		28.7	63.0	49.7	43.0	26.5	13.5	28.7	35.6	31.6	19.7
	近所の人	現在使っている	1.3	3.0	3.5	2.8	0.6	0.2	1.3	1.4	1.7	0.8
		現在使っていないが、お金を払ってでも使いたい	3.8	7.2	8.2	5.1	4.0	1.7	3.8	3.4	6.9	1.7
		現在使っていないが、無料でなら使いたい	9.0	12.9	15.2	12.3	8.9	6.1	9.0	10.9	10.7	5.9
		現在使っていないし、使いたくない	85.9	76.9	73.0	79.8	86.5	92.0	85.9	84.2	80.7	91.5
	現在使っている+使いたい・計		14.1	23.1	27.0	20.2	13.5	8.0	14.1	15.8	19.3	8.5
	ベビーシッター	現在使っている	1.2	3.0	4.3	1.9	0.1	0.4	1.2	1.1	2.2	0.5
		現在使っていないが、お金を払ってでも使いたい	5.5	11.8	10.5	7.7	5.2	2.7	5.5	7.0	7.0	2.9
		現在使っていないが、無料でなら使いたい	9.9	20.9	17.3	9.0	8.4	7.1	9.9	11.6	9.7	8.3
		現在使っていないし、使いたくない	83.4	64.3	67.9	81.4	86.4	89.8	83.4	80.2	81.1	88.3
	現在使っている+使いたい・計		16.6	35.7	32.1	18.6	13.6	10.2	16.6	19.8	18.9	11.7
	行政・自治体のサービス	現在使っている	2.1	4.5	6.6	1.9	2.8	0.6	2.1	2.4	2.0	1.9
		現在使っていないが、お金を払ってでも使いたい	5.4	10.8	10.0	6.4	5.1	3.3	5.4	6.2	7.4	3.1
		現在使っていないが、無料でなら使いたい	22.3	31.3	28.8	26.4	23.8	17.2	22.3	21.7	24.4	21.2
		現在使っていないし、使いたくない	70.2	53.3	54.5	65.3	68.4	78.9	70.2	69.7	66.1	73.8
	現在使っている+使いたい・計		29.8	46.7	45.5	34.7	31.6	21.1	29.8	30.3	33.9	26.2
n=		2,292	235	187	384	398	1,088	3,100	1,158	823	1,120	
家事	親（両親、配偶者の両親）	現在使っている	8.5	21.0	14.8	14.2	6.0	3.7	7.6	8.5	8.4	6.1
		現在使っていないが、お金を払ってでも使いたい	5.1	8.8	10.7	7.5	4.6	2.7	5.5	5.3	8.5	3.3
		現在使っていないが、無料でなら使いたい	14.0	20.0	19.6	17.5	14.6	10.3	14.4	16.0	17.9	10.0
		現在使っていないし、使いたくない	72.3	50.2	54.9	60.8	74.8	83.2	72.6	70.1	65.2	80.6
	現在使っている+使いたい・計		27.7	49.8	45.1	39.2	25.2	16.8	27.4	29.9	34.8	19.4
	近所の人	現在使っている	1.1	2.0	1.9	3.0	1.0	0.1	1.0	1.4	1.3	0.4
		現在使っていないが、お金を払ってでも使いたい	3.7	5.8	11.8	4.8	1.8	2.2	4.1	3.7	7.4	2.0
		現在使っていないが、無料でなら使いたい	8.6	13.5	11.0	9.7	10.9	5.9	9.3	9.3	13.6	6.0
		現在使っていないし、使いたくない	86.6	78.6	75.3	82.5	86.2	91.9	85.6	85.6	77.7	91.5
	現在使っている+使いたい・計		13.4	21.4	24.7	17.5	13.8	8.1	14.4	14.4	22.3	8.5
	家事代行サービス	現在使っている	1.4	1.9	2.8	3.1	1.6	0.4	1.3	1.3	1.5	1.1
		現在使っていないが、お金を払ってでも使いたい	8.1	11.0	10.9	9.4	7.0	6.8	8.7	7.6	11.7	7.7
		現在使っていないが、無料でなら使いたい	19.5	28.2	27.0	20.9	17.8	16.5	19.8	20.1	22.0	17.7
		現在使っていないし、使いたくない	71.0	58.9	59.3	66.5	73.6	76.2	70.2	70.9	64.8	73.5
	現在使っている+使いたい・計		29.0	41.1	40.7	33.5	26.4	23.8	29.8	29.1	35.2	26.5
	【配偶者・パートナーとの関係】 カウンセラー	現在使っている	2.2	4.4	6.4	4.8	1.5	0.3	2.5	2.3	4.3	1.2
		現在使っていないが、お金を払ってでも使いたい	5.8	8.3	11.1	7.6	5.8	3.6	6.0	6.3	10.3	2.5
		現在使っていないが、無料でなら使いたい	12.1	14.7	16.3	14.5	12.0	9.9	12.3	14.0	11.6	11.1
		現在使っていないし、使いたくない	80.0	72.6	66.1	73.1	80.7	86.2	79.2	77.3	73.7	85.2
	現在使っている+使いたい・計		20.0	27.4	33.9	26.9	19.3	13.8	20.8	22.7	26.3	14.8

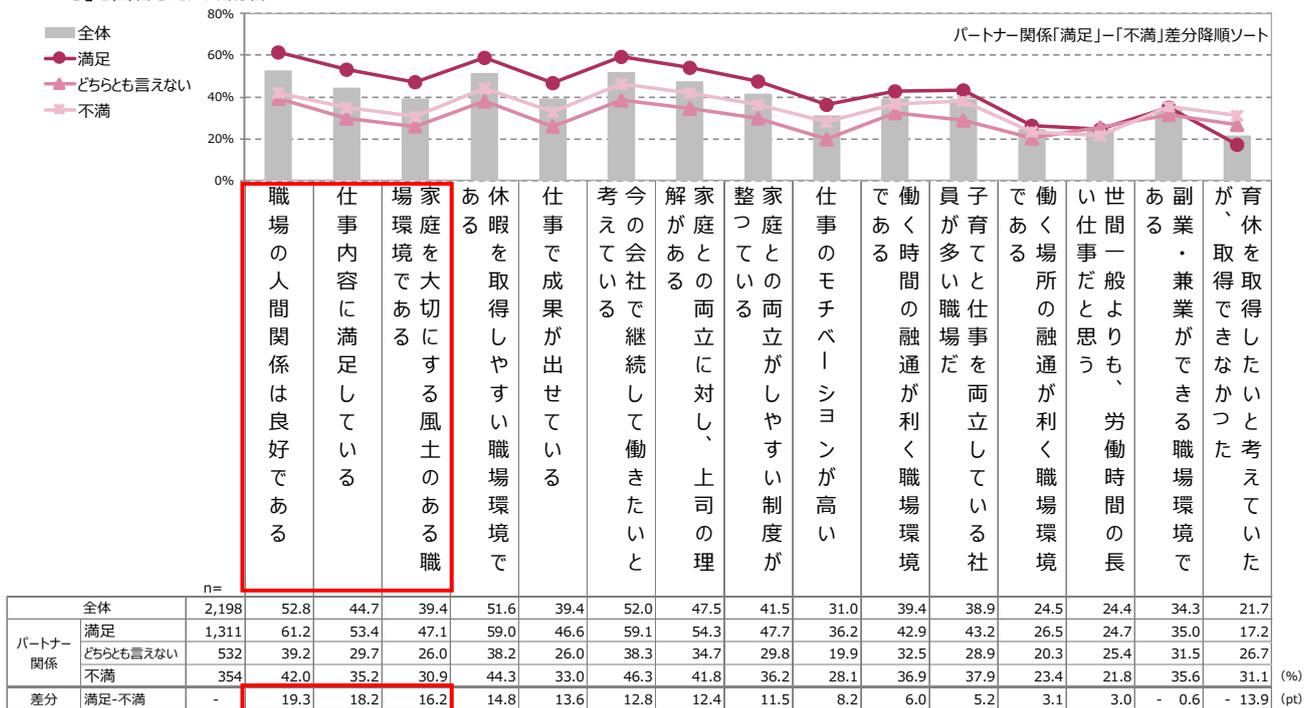
(%)

3. 配偶者・パートナー満足と仕事環境および子ども意向

- 現在働いている人では「職場の人間関係は良好である」「仕事内容に満足している」「家庭（プライベート）を大切にできる風土のある職場環境である」を選択する割合は、満足層が不満層よりも15ポイント以上高い。
- 子どもがいる人では「家庭を大切にできる風土のある職場環境である」「家庭との両立がしやすい制度が整っている」「家庭との両立に対し、上司の理解がある」などの仕事と家庭を両立しやすい社風・制度の項目において、満足層と不満層が選択する割合は15ポイント前後開いている。
- 配偶者・パートナー関係の満足と良好な職場環境や人間関係、社風・制度は関係している。

■ 配偶者・パートナーと仕事環境（有職者ベース／パートナー関係満足状況別／単一回答）

※「Q.現在働いている方にお伺いします。現在の状況について、当てはまるものをお選びください。」で各項目に、「非常に当てはまる」「やや当てはまる」と回答した人の割合



【有職者子ども有無別】（※パートナー関係「満足」-「不満」差分上位10位まで抜粋）

<子どもありベース>

差分降順ソート

<子どもなしベース>

差分降順ソート

項目	全体	パートナー関係			差分 (満足-不満)
		満足	どちらとも言えない	不満	
家庭（プライベート）を大切にできる風土のある職場環境である	39.5	47.6	27.9	30.0	17.5
仕事内容に満足している	45.4	54.6	30.3	37.3	17.3
職場の人間関係は良好である	53.9	62.0	42.0	44.9	17.1
家庭（家事・育児）との両立がしやすい制度が整っている	41.9	49.4	29.7	34.8	14.6
休暇を取得しやすい職場環境である	51.7	59.1	39.7	44.8	14.3
家庭との両立に対し、上司の理解がある	48.4	55.6	36.9	41.6	13.9
仕事で成果が出せている	39.4	46.3	28.1	33.1	13.2
今の会社で継続して働きたいと考えている	53.3	60.4	40.3	48.8	11.6
子育てと仕事を両立している社員が多い職場だ	40.4	45.8	30.0	37.7	8.1
仕事のモチベーションが高い	31.8	37.5	20.6	29.6	7.8

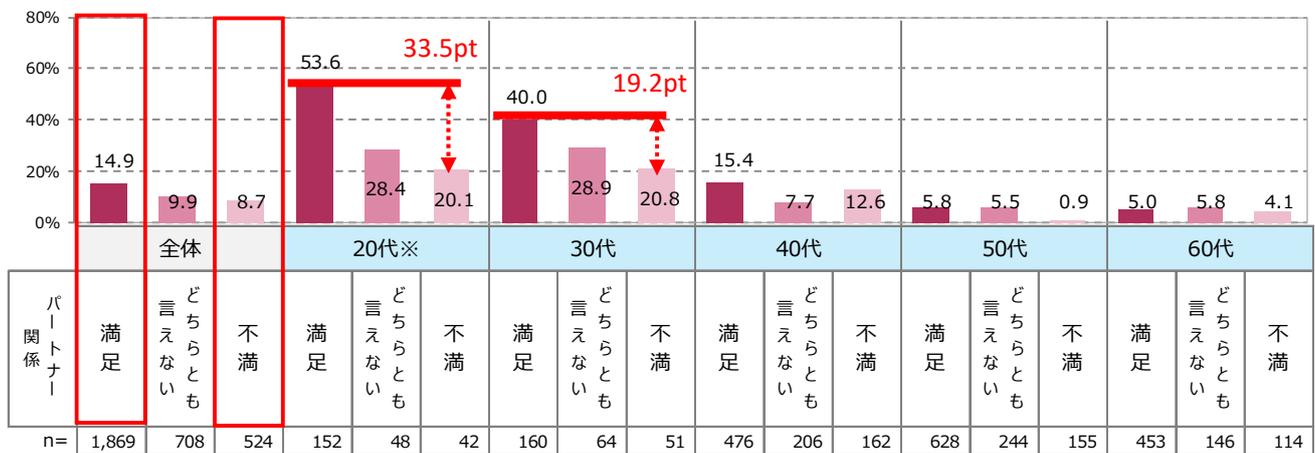
項目	全体	パートナー関係			差分 (満足-不満)
		満足	どちらとも言えない	不満	
職場の人間関係は良好である	49.5	59.4	29.3	29.1	30.3
仕事内容に満足している	42.8	50.4	27.5	26.1	24.3
今の会社で継続して働きたいと考えている	48.0	55.6	30.9	35.2	20.4
休暇を取得しやすい職場環境である	51.4	58.9	33.0	41.7	17.2
仕事で成果が出せている	39.5	47.3	18.5	32.4	14.9
仕事のモチベーションが高い	28.4	33.1	17.4	21.2	11.9
家庭（プライベート）を大切にできる風土のある職場環境である	39.1	46.1	19.2	34.7	11.3
働く時間の融通が利く職場環境である（フレックスタイム、短時間制など）	38.7	43.3	26.3	34.4	8.9
家庭との両立に対し、上司の理解がある	45.0	51.0	26.9	42.8	8.2
副業・兼業ができる職場環境である	36.4	38.1	32.6	33.5	4.6

3. 配偶者・パートナー満足と仕事環境および子ども意向

- 子ども意向（「今後、（さらに）子どもを持ちたいと思っている」について「非常にそう思う」「ややそう思う」と回答した人の割合）を年代別にみると、20代では、満足層の子ども意向53.6%、不満足層20.1%となっており、満足層と不満足層の差が33.5ポイントと大きく開いている。30代では満足層の子ども意向40.0%、不満足層20.8%で差が19.2ポイントとなっている。
- 20代・30代の配偶者・パートナー関係の満足度は、子ども意向にも顕著に表れている。

■ 子ども意向（全体／年代×パートナー関係満足状況別／単一回答）

※「Q.現在の生活における、あなたの状況についてお答えください。」の「今後、（さらに）子どもを持ちたいと思っている」について、「非常にそう思う」「ややそう思う」と回答した人の割合



※「20代※」…「18歳～29歳」を指します。

リクルートグループについて

1960年の創業以来、リクルートグループは、就職・結婚・進学・住宅・自動車・旅行・飲食・美容などの領域において、一人ひとりのライフスタイルに応じたより最適な選択肢を提供してきました。現在、HRテクノロジー、マッチング&ソリューション、人材派遣の3事業を軸に、60を超える国・地域で事業を展開しています。リクルートグループは、新しい価値の創造を通じ、社会からの期待に応え、一人ひとりが輝く豊かな世界の実現に向けて、より多くの『まだ、ここにはない、出会い。』を提供していきます。

詳しくはこちらをご覧ください。

リクルートグループ：<https://recruit-holdings.com/ja/> リクルート：<https://www.recruit.co.jp/>